

常盤小学校校章について



- 素材は常盤の「松」。松は古来よりこの地の代表的な樹木
- 輪を結ぶ松葉は、「輪」→「和」に通じ、仲睦まじい友愛を、真っ直ぐ伸びた松の枝は、清々しく力強く伸びゆく真摯な姿を表す。
- 総じて、郷土を愛し、互いに協調し、自分の可能性十分に伸ばしゆく力が身につくことを願う。

常盤小学校校歌について

- 歌い継がれてきた、すばらしい常盤小学校校歌の作詞者は、浅井冽氏であることは、どなたも存じのところである。しかし、この校歌がいつ生まれ、作曲者は誰かということは、はっきりしていない。
- 百周年記念事業の中で校歌研究委員会が設けられ、県文書課等手を尽くしたが結局判明できなかった。そこで、百周年記念誌委員会では、明治42年頃であろうという先輩の助言をいただきながら、当時の当時の職員会誌、学校日誌を中心に調査した。その結果、明治39年入学生の通信簿にすでに校歌が印刷されており、運動会でも歌われていたことが分かっている。



数字符のついた校歌

